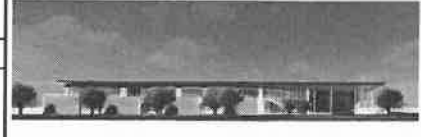


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 |使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社ワイエムシー YFSプロジェクト	階数	地上2F
建設地	京都府福知山市三和町みわ小字エ	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	15人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,900時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	
竣工年	2019年9月 0.0	評価の実施日	2018年11月2日
敷地面積	51,980 m ²	作成者	西岡美佐
建築面積	2,086 m ²	確認日	2018年11月2日
延床面積	2,561 m ²	確認者	伊東正太郎



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 92% (127 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 92% (127 kg-CO₂/年・m²)

④上記+: 92% (127 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
建物は、周辺への景観上の配慮から2層とし、建物位置は前面道路から十分に引きを確保しながら緑地を確保することで地域環境への配慮を行った。	0	
Q1 室内環境 建物西面の開口にはロールスクリーンを設置し、日射熱及び眩しさを対策を行った。	Q2 サービス性能 設備、電気系統はメンテナンス性及び更新に配慮した計画とした。また、耐久性の高い配管材などの選定により、耐用性を図った。	Q3 室外環境(敷地内) 外観は福知山市景観条例に基づいた配慮を行うと共に、植栽帯により周辺環境と一体化を図った。
LR1 エネルギー 太陽光システムを採用した。	LR2 資源・マテリアル リサイクル資材(再生クラッシュラン)を採用した。	LR3 敷地外環境 道路に面して植栽を行い、周辺環境に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される